

2015年12月8日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

代表理事 川口 徳子

一般財団法人日本産業協会の
「消費生活アドバイザー資格制度創設35周年記念 企業・功労者表彰」
において日本ヒーブ協議会正会員の3名の方が受賞しました！

経済産業大臣表彰	日新製糖株式会社	中村 尚美 (なかむら なおみ) さん
日本産業協会会長感謝状	味の素ゼネラルフーズ株式会社	志保沢 久子(しほさわ ひさこ) さん
日本産業協会会長感謝状	ライオン株式会社	土屋 ゆかり(つちや ゆかり) さん

日本ヒーブ協議会正会員である日新製糖株式会社の中村尚美さんが「経済産業大臣表彰」を、味の素ゼネラルフーズ株式会社の志保沢久子さん及び、ライオン株式会社の土屋ゆかりさんの2名が「日本産業協会会長感謝状」を、日本産業協会より表彰されましたのでお知らせします。

中村 尚美さんの「経済産業大臣表彰」受賞の対象となった主な活動実績

○保存料を使用しないノンカロリーガムシロップの開発

カロリーの少ないガムシロップは以前から販売していたが、「保存料を使用していない、カロリーの少ないガムシロップが欲しい」との消費者からの要望があったことから、当時の開発メンバーの一員として『無菌充填で個包装する、保存料を使用しない、カロリーゼロ』と謳うことのできるガムシロップを開発し発売。

この商品開発には、食品表示の方法や当時の栄養表示基準、市場の動向など、消費生活アドバイザーを更新・継続するために得た商品に纏わる広い知識が役立っている。現在は、プライベートブランドのスティックシュガーの商品設計を手掛け、消費生活アドバイザーで得た知識や消費者視点での商品設計、表示内容を心掛け提案している。

日新製糖株式会社

中村 尚美 (なかむら なおみ) 消費生活アドバイザー13期

【プロフィール】

大学時代に日本ヒーブ協議会主催の講演会で、消費生活アドバイザー資格を知り、「消費者ニーズを汲み取り、消費者と企業を結ぶ架け橋となる職業人になりたい」と考え日新製糖(株)に入社し、商品開発業務に携わりながら資格を取得。冷凍食品の商品開発業務、役員秘書、ガムシロップ開発業務、お客様相談室相談窓口業務、黒糖輸入・品質保証業務、生産委託(アウトソーシング)業務と様々な業務に携わる。消費者ニーズの具現化を目指し、食品の表示、消費者が求めているものを探りながら業務を行うにあたり、消費生活アドバイザーの資格を通して学んだ幅広い知識を活かした。

2015年日本ヒーブ協議会入会。「働く女性と生活に関する調査・提言」分科会に参加し活躍。



志保沢 久子さんの「日本産業協会会長感謝状」受賞の対象となった主な活動実績

○レギュラーコーヒーであることがわかりやすい表示に改善 他

インスタントコーヒーとレギュラーコーヒーの商品デザインがブランド戦略上統一されているため、「詰め替え用インスタントコーヒーと間違えてレギュラーコーヒーを購入してしまう」というお客様からの声を製品担当者に聞いてもらい、改善の必要性を粘り強く説明した。その結果、パッケージの前面に『インスタントコーヒーではありません』と器具のイラストとともに表示し、裏面には『インスタントコーヒーではありませんのでお湯には溶けません』と飲み方の写真を表示した。消費生活アドバイザーとして、常に「消費者視点」を持ち続け、消費者からの提案や意見を商品・サービスの開発や改善に活かしている。

味の素ゼネラルフーズ株式会社

志保沢 久子 (しばさわ ひさこ) 消費生活アドバイザー3期

【プロフィール】

1979年に味の素ゼネラルフーズ(株)に入社し、広報室でお客様対応を行う。消費生活アドバイザー取得後、他部門に数年異動した後、現職の広報部 お客様相談グループでお客様相談を約30年担当。消費生活アドバイザー制度創設の翌年、年齢制限等の受験資格をクリアして志保沢氏も取得。消費生活アドバイザー資格の取得をきっかけに、横のネットワークを活かして異業種間での情報交換を積極的に行い、ぶれない「消費者視点」を持ち続けて業務を遂行した。

1990年日本ヒーブ協議会入会。2010～2014年度に監事を2期4年歴任し、幅広い知識を活かして活躍。



土屋 ゆかりさんの「日本産業協会会長感謝状」受賞の対象となった主な活動実績

○製品の区別がつきやすいパッケージに改善

同一ブランドに「消臭剤」と「洗剤」の2種類があり、どちらにも環境に配慮した詰め替え用も品揃えしている。詰め替え用のパッケージは色調が似ており、売り場も近くに置かれることから、お客様が間違えて購入してしまうことがあった。そのため、お客様の声を分析・報告し、パッケージ全体の色味や製品名の配置変更など、より区別のつきやすいパッケージの改善提案を行い、改善につなげた。この他、暮らしに役立つ製品関連の生活情報の消費者への送付を部内に提案し、相談窓口にお問い合わせのあったお客様に現在も発信している。消費生活アドバイザーで得た知見を活かし、消費者視点の商品・サービスの改善に積極的に取り組んでいる。

ライオン株式会社

土屋 ゆかり (つちや ゆかり) 消費生活アドバイザー22期

【プロフィール】

1987年にライオン(株)に入社し、研究開発本部で化学品や家庭用製品の基礎研究や分析、家庭用製品の製品開発等を担当。2010年より、お客様センターにてメールや電話でのお客様対応、「お客様の声」の社内への発信、お客様への生活情報発信等に携わっている。消費生活アドバイザーの資格は、研究開発本部に在籍中に、製品開発に「消費者視点」を取り入れたいと考え取得。資格取得で得た製品の背景となる法規や環境等の知識は、現在のお客様センターでもお客様対応の質を支えるバックボーンとなっている。

2014年日本ヒーブ協議会入会。「お客様対応を考える」分科会に参加し活躍。



一般財団法人日本産業協会の「消費生活アドバイザー資格制度創設35周年記念 企業・功労者表彰」は、平成27年12月7日(月)にホテルニューオータニ「鳳凰の間」において行われました。また、パネルディスカッションでは、日本ヒーブ協議会 川口徳子代表理事がパネリストとして登壇しました。